

令和6年度 第1回八千代市生涯学習審議会 会議録

会 議 名 令和6年度 第1回八千代市生涯学習審議会

開催日時 令和6年11月27日（水） 午後2時25分～午後3時40分

開催会場 八千代市教育委員会庁舎 2階 大会議室

議 題 1 会長・副会長の選出について
2 第4期八千代市生涯学習推進計画の策定方針について

出席者名

出席委員	佐藤 知行	委員（市民）
	田村 俊毅	委員（市民）
	武田 美保	委員（市民）
	藤澤 伊佐雄	委員（学識経験者）
	長谷川 幸雄	委員（関係団体の代表者）
	小野尾 忠一	委員（関係団体の代表者）
	金子 寿次	委員（関係団体の代表者）
	笠川 嘉雄	委員（関係団体の代表者）
	種村 保	委員（関係団体の代表者）
事務局	嶺岸 秀一	（教育長）
	伊藤 栄治	（教育次長）
	井澤 延浩	（生涯学習振興課長）
	大野 光弘	（文化・スポーツ課長）
	岡崎 智	（生涯学習振興課公民館担当主幹）
	花嶋 政彦	（生涯学習振興課副主幹）
	江尻 浩太	（生涯学習振興課主査）
	長岡 将史	（生涯学習振興課主査補）

公開又は非公開の別 公開

傍聴人定員及び傍聴人数 0人／定員5人

所管課名 教育委員会生涯学習振興課

電話番号 047（481）0309

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

それでは、定刻前ではありますが、皆様お揃いですので、ただいまから令和6年度第1回八千代市生涯学習審議会を開会いたします。

本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。司会を務めさせていただきます、生涯学習振興課の花嶋と申します。どうぞよろしくお願いします。

会議に先立ちまして、令和6年10月1日より新たな任期を迎えられましたことから、略儀ながら委嘱状をテーブルの上に置かせていただいております。

当市における生涯学習の推進を図るため、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。お手元にお配りしております順に申し上げますので、ご確認をお願いします。

まず、「会議次第」、次に「席次表」、続いて「八千代市生涯学習審議会委員及び事務局職員名簿」、「八千代市生涯学習審議会条例」、「八千代市生涯学習審議会条例施行規則」、「図書館年報」。

本日の配付資料は以上となりますが、委員の皆様方に事前に郵送させていただき、ご持参をお願いしました資料といたしまして、資料1、「第4期八千代市生涯学習推進計画策定方針」、参考資料1、「生涯学習に関する市民アンケート調査の結果について」、参考資料2、「第3期八千代市生涯学習推進計画」。

以上となりますが、資料の不足がございましたら、お申し出ください。

なお、図書館年報2024年度につきましては、本日の会議では使用しませんので、お持ち帰りいただき、ご覧いただければと思います。資料の方はよろしいでしょうか。

本日の出席委員は9名です。八千代市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、会議が成立しました。

本会議は、八千代市審議会等の会議の公開に関する要領第4条の規定により、公開しています。また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承願います。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第2、「教育長挨拶」です。嶺岸教育長より挨拶申し上げます。

【嶺岸教育長】

皆様、こんにちは。教育長の嶺岸でございます。

この10月1日をもって、教育長の職務を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いしたいと思います。

委員の皆様方におかれましては、ご多用の折に、本審議会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃より、本審議会の推進についてご尽力賜りまして、また、この度、本審議会の委員にご就任をいただきましたこと、改めまして心より感謝申し上げます。

さて、社会を取り巻く状況は、急激な変化を遂げております。生涯学習、生涯教育が果たす役割は、ますます重要になってきていると感じております。

本市におきましても、令和3年3月に策定いたしました「第3期生涯学習推進計画」が今年

度をもちまして計画期間が終了することに伴って、令和7年度からスタートいたします次期計画「第4期生涯学習推進計画」の策定を進めているところでございます。

本日は、その策定方針等について、この後、担当より説明を用意しておりますので、よろしくお願いします。

結びに当たりまして、委員の皆様方には、それぞれのお立場で本市の生涯学習に対する忌憚のないご意見、ご助言、時には言いにくいことも、貴重な会議ですので、しっかりと伝えていただきながら、我々事務局としては、その対応に向けて1ミリを削っていく、そういう覚悟を持って動いていきたいと思っておりますので、改めてお願いを申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願いします。

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

続きまして次第3、「委員及び出席者紹介」ですが、本日は本審議会の委員として、委嘱後初めて開催する審議会なので、お1人様ずつご紹介をさせていただきます。

お配りした名簿の順にお呼びしますので、恐れ入りますが、ご起立の上一言ご挨拶を賜りますようお願いいたします。

それでは、市民委員といたしまして、佐藤知行委員でございます。

(委員紹介)

【佐藤委員】

佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、この八千代市の生涯学習審議会2期目になるかと思います。1期目は、何もわからないまま、やっておりましたけれども、2期目であれば、今教育長のお話を伺って少し自分の思うところも発表できればいいなと思っておりますので、何かと失礼な部分もあるかもしれませんが、どうぞお許しをいただきながら仲間にさせていただければと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

【田村委員】

田村でございます。

常々八千代市の生涯学習というのは幅広く結構やっていて、近隣の市町村と比べても、充実していると思っております。そういう意味で生涯学習振興課の皆様は大変かなと思っております。私自身も中央図書館や博物館で参加し、いろいろ体験しております。

内容も数だけではなくて、結構充実していると思います。

同時に、参加すると市の行政の有難さが少しわかるようになってきました。

さて、今日はこれから第4期の計画を作るということですが、先ほど教育長が仰っていたように、環境が第3期の頃とは全く変わってきている。

それからアンケートを見てもニーズが多様化してきている。いろいろなSNSやインター

ネットなども変わってきている。これをいかに取り込んでやっていくか。だから、思いつきり悪いのは見直して、良いことは取り入れていくとよいと思います。そのことで、議論をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【武田委員】

武田です。よろしくお願いします。

今期が初めてです。私は、八千代市の男女共同参画の懇話会委員を5期務めています。

普段はお花の教室を八千代中央駅のすぐ近くで開いていまして、私自身も講師という立場で築地の社会教育会館に講座を持たせていただいている、生涯学習の講座とかの講師という立場で務めさせていただいています。

偶然ですが、今月から八千代中央にあるセントラルスポーツ生涯学習プラザのプールの監視員のアルバイトも始めていて、市民の皆様と関わる機会を持っています。

あとは、娘が1人おりまして、子育て世代の親としても市民委員として意見をお伝えできればよいなと思っております。

わからないことがたくさんありますが、よろしくお願いいたします。

【藤澤委員】

藤澤です。よろしくお願い致します。

八千代台北に住んでおり、また、現役時代、八千代市でずっと学校現場で働いておりましたので、地域の方々に学校に来ていただいて、子どもたちと一緒にいろんな交流をしていただき、そういった繋がりを感じています。

今回、私も3期目に入りましたので、秀明大学の教員だけでなく学生にもいろんな人材がいて、先日学園祭が行われ、有意義なブースも開催されました。そういったものをこの生涯学習審議会のプログラムに持って来ようと思っています。そういった形で、先ほど田村委員の方からありましたように、ニーズが広いのでいろんなニーズにこたえるという意味でいろんな意見が出せたり聞けたりしたらいいなと思っています。よろしくお願い致します。

【長谷川委員】

長谷川幸生です。よろしくお願いします。

自治会連合会の副会長を今やっていますが、私はかつて勝田台の駅の北側にある栄町町会の会長を4年やっております、自治会に関してはいろいろやっております。

今回の話を聞きまして資料をいろいろ読みました。やはり、いろんなことをやっているのだなと思いましたし、それぞれ有意義なことだと思っています。

ただ、この頃、八千代市に外国人が結構増えてきてごみの問題もありますし、いろんなことがあるのですが、外国の方をどのように積極的に取り入れていくかという視点で資料を見させていただいたときに、ちょっと少ないなと感じております。

経験のある委員の皆さんは、いろいろなことをご存じだと思いますが、私の知識も伝えな

がら、できるだけ皆さんと一緒に参画していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【小野尾委員】

八千代市地域振興財団で理事を務めさせていただいております、小野尾です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は今期で2期目になりますが、1期目はまだ何もわからないまま任命されまして、まずは生涯学習とは何か、身の回りでどういったものが行われているか、参加する機会があるかっていうことをいろいろと考えながら今日まで至っていますが、地域振興財団といいまして、市民会館や総合グラウンドなどの運営等に携わっておりますので、生涯学習の場所、施設そういった環境を提供させていただく立場からの観点も含めて、何かお役に立ちたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【金子委員】

金子でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

スポーツ協会の副会長という立場でこちらに参加させていただいております。

生涯学習という言葉がついているのでちょっと硬い感じがしますが、学ぶ習うことも必要だし、それも十分良いことだと思いますが、親睦や交流もこの生涯学習で充実して取り扱っていければよいと思っております。

あまり堅くなく明るく楽しくいければよいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【笠川委員】

笠川と申します。よろしくお願いいたします。

公民館サークル協議会で、会長を務めておりますが、実際にはサークル協議会が残っているのは、八千代台東南公民館だけです。あと東南公民館で、園芸友の会の会長、それから船橋の山野草同好会の会長を務め、両方の講師をやっていますが、各サークルの人員が減少しているのが現状です。船橋では、土曜日に活動していますが、八千代は木曜日です。平日だと参加する人が少ない。やはり曜日の影響も若干あるということです。僕が入る前は元々その同好会の方は、八千代でも30名はいたみたいです。船橋は100何名いたらしいですが、人員が多いってことで、薬円台と八千代に分かれたらしいです。歴史過程はそこまでしか僕は知りませんが、八千代台のサークルは少ない。この間、公民館まつりを開催しましたが、今までは公民館を定期的に使っているサークルは、公民館まつりに、強制的に参加するということでしたが、今年からはその決まりがなくなり、自由参加になり、47のサークル中19しか参加していません。やはりその辺の問題が若干あると思っていますけど、公民館を使っている以上は、みんなの公民館の祭りですので、使っている人たちは参加しなくてはまずいというのが僕の考えです。それはさておき、そのサークルの人員が減少しているので、どうに

か増やせないかと模索中ですが、なかなか思うようにいかない。ただ、園芸店に行きますと、結構お花を買っている人はたくさんいます。でも一緒に活動するというのが、なかなかない。先ほど皆さん仰ってました、インターネットで勉強できる。昔は、知識のある人から教わるもので、盆栽も、山野草も高山植物も蘭も、多肉植物から何から全部作りましたが、教わる、もしくは、書物で勉強するという独自の方法でしたが、今はインターネットで簡単に知識を得られます。でも、目的は親睦です。プロにはならないので、その知識がある程度、行き渡ればよいです。だから僕も正直考えていますのは、小中学生まで取り込もうか、という考え方を持っています。会費は小中学生を無料にして。材料費ぐらいにしてという案がありますが、曜日も絡んでくるので、親御さんがどれだけ理解を示すかと思います。

船橋のお祭りでも、植物を安く販売しますが、小中学生で好きな人がたくさんいます。親御さんについてきて、「僕、随分詳しいね」と言うと、僕はこれだけ持っていると、携帯で写真を見せてくれます。「それだったらいいよ、僕、これあげるよ」と言って、あげちゃいます。そういう状態で、サークルの人員が少なくなってくる、だから人間関係が昔と違っていています。少し、個人的なものになってきたという考え方も持っていますが、サークルからつながりの輪を広げていくことが、大切だと思いますね。

初めて委員として参加させていただき、お力になるかどうか分かりませんが、今後よろしく願いいたします。

【種村保委員】

八千代中学校校長をしています種村といいます。よろしくお願いいたします。

八千代市の小中学校そして義務教育学校の校長会の代表として参加させていただきます。

本当に地域の皆様には日頃から、八千代市の子どもたち、いろんな場面で、見守っていただいていることに本当に感謝申し上げます。

中学校の校長として言いますと、皆様、部活動の地域移行という言葉も、多分いろいろマスコミ等で聞いているかと思います。八千代市では、各学校一部活ぐらいは今ある部活の中に地域の指導者の方をお願いをして、どんどん地域移行を進めているのですが、先行しているところでは、部活を全てなくして、地域の方が指導者として入ってきて教えている市町村も出てきております。そのことを考えますと先ほど笹川様が、小中学校等で子どもたちを巻き込んでとの話がありましたが、将来的には中学校の部活も地域の方たちに支えられながらやっていく、生涯学習に移行する流れになるかもしれないので、本当に今日は皆様と一緒に勉強させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

委員の皆様、ありがとうございました。

続いて、市側の出席者紹介をさせていただきます。

嶺岸秀一教育長でございます。

【嶺岸教育長】

本日はよろしく申し上げます。

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

続きまして、事務局紹介に移らせていただきます。

（事務局紹介）

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

教育長は所用のため、ここで退席をさせていただきます。

続きまして、次第 4、「議題」に移らせていただきますが、本日は委員の改選後初めての審議会となりますので、議長を務めていただく会長が不在となっております。このため、会長が選出されるまでの間、事務局にて進行をさせていただきます。

議題 1「八千代市生涯学習審議会会長、副会長の選出」に入ります。

はじめに会長の選出になりますが、八千代市生涯学習審議会条例第 4 条第 1 項の規定により、会長は委員の互選により定めることとなっております。

自薦推薦等はございませんでしょうか。

【種村委員】

私の方から藤澤委員を推薦したいと思います。

改選前も会長を務められておりまして、幅広い視点での経験等が豊富な委員でございます。そのことから、会長に推薦いたします。

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

ただいま、種村委員から、藤澤委員のご推薦がありました。皆様いかがでしょうか。

（異議なし）

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

それでは藤澤委員、お引き受けいただけますでしょうか。

【藤澤委員】

はい。

【事務局（生涯学習振興課 花嶋副主幹）】

よろしく願いいたします。

【藤澤会長】

改めまして、藤澤と申します。

皆様にご協力をいただきながら、審議会を和やかに温かく進行して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。では座って進めさせていただきます。

議題1の続きとなりますが、八千代市生涯学習審議会、副会長の選出について入ります。

副会長についても、八千代市生涯学習審議会条例の規定により、委員の互選により定めることとなっております。自薦推薦ございませんでしょうか。

では、皆様の異存がなければ、私から推薦させていただきたいと思います。

それでは、これまでも委員を務めて参りました、また、貴重なご意見をたくさんいただいた田村委員を推薦したいと思います。

田村委員、お引き受けいただけますでしょうか。

【田村委員】

はい。

【藤澤会長】

ありがとうございます。

皆様のご承認をいただきましたので、副会長を田村委員にお願いしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次の議題に入ります。

議題2「第4期八千代市生涯学習推進計画の策定方針について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

私の方から、議題2「第4期八千代市生涯学習推進計画策定方針」についてご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、着座にてご説明させていただきます。

本議題におきまして、本市の生涯学習行政の指針として、参考資料2としてお配りしました、令和3年3月に策定しました「第3期八千代市生涯学習推進計画」に基づき、現在取り組み等を推進しておりますが、その計画期間が今年度末で終了することに伴い、令和7年度からスタートする次期計画である「第4期八千代市生涯学習推進計画」の策定方針について、資料1の「第5期八千代市生涯学習推進計画」策定方針をもとにご説明させていただきます。

それでは資料1の1ページ目をご覧ください。

一番の「1 はじめ」としまして、「(1) 生涯学習とは」の説明をいたします。

生涯学習とは、学校教育、社会教育活動、スポーツ活動、ボランティアや趣味など、生涯における場や機会において行うあらゆる学習のことを生涯学習といいます。また、国の法律

であります。教育基本法におきましては、国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習でき、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない、と生涯学習についての理念が示されております。誰もがいつでもどこでも学習することができ、また、学習成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現を社会全体で目指すこととしております。

次に「(2) 計画策定の趣旨」につきましてご説明させていただきます。

近年の少子高齢化や核家族化、また、地域コミュニティにおける交流の希薄化など、進む一方で、感染症の拡大、また世界情勢の不安など、困難な時代を迎えており、一方でインターネットやSNSなどによる情報化社会の進展など、様々な変化により、生涯学習のニーズは複雑化高度化しております。こういった現在の社会情勢や人々のライフスタイルや価値観に対応し、誰もが生涯にわたり学び続けることができ、学んだことを生かし、活躍できる生涯学習社会を実現することが重要であります。

このため、本市における生涯学習推進の施策を総合的、効果的に推進するための指針である、次期計画であります、第4期生涯学習推進計画をこの度策定するものでございます。

次に3ページをご覧ください。

「2 生涯学習を取り巻く状況」の「(1) 国の動向」について説明いたします。

文部科学大臣の諮問機関であり、生涯学習に係る機会の整備に関する重要事項や社会教育の振興に関する重要事項などを調査審議する「中央教育審議会生涯学習分科会」では、令和4年8月に第11期として、議論された内容が取りまとめられました。ここでは、生涯学習社会教育が果たし得る役割や、今後の生涯学習、社会教育の振興策として、公民館等の社会教育施設の評価。デジタル社会への対応、社会教育人材の育成、活躍する機会の拡充、地域と学校の連携、協働の推進、リカレント教育の推進、多様な障害に対応した生涯学習の推進が示されました。

また、教育基本法に基づき、政府が策定する教育に関する総合計画である「第4期教育振興基本計画」が令和5年6月に閣議決定され、この計画では、持続可能な社会のつくり手の育成と、この社会に根差したNBの向上をコンセプトとして掲げ、5つの基本方針と、16の教育政策の目標、基本施策及び指標を示しております。その中で、生涯学習及び社会教育に関する目標として、生涯学び活躍できる環境整備、学校家庭地域の連携、協働の推進、地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進が挙げられております。

次に4ページをご覧ください。「(2) 県の動向」になります。

千葉県では、令和5年5月に「千葉県生涯学習推進方針」を策定し、千葉県における生涯学習における現状や課題を踏まえ、社会と繋がる生涯学習、いつでもどこでも誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現を目標として掲げ、多様な学習機会の充実、学習に関する情報提供、相談の充実、学習成果を社会に生かす仕組みづくり、多様な主体と社員との連携協働の推進を生涯学習推進の4つの柱とし、それぞれにおいて、県、市町村、民間に期待される役割を位置付けております。

次に、「(3) 本市における構想・計画の経緯」について。

これまでの本市における生涯学習推進の構想や計画の経緯についてご説明します。

なお5ページに図として評価を表しております。本市の最初の生涯学習推進施策についての指針として、平成7年3月に「八千代市生涯学習基本構想」を策定いたしました。

その後、基本方針を踏まえ、取り組むべき施策や事業を具体化するため、「生涯学習推進計画」を平成8年度から平成22年度にかけて、第1次から第4次までを策定し、事業施策を推進して参りました。平成22年10月には、基本構想の策定から15年経過したことや、社会情勢の変化、教育基本法における生涯学習の理念の明文化に伴い、新たに平成23年度から10年間を構想の期間とする「第2次八千代市生涯学習基本構想」を策定し、“一人一人が学びを深め互いに成果を出し合い、ともに生きる町八千代”を基本理念といたしました。この第2次構想に基づく計画として、「第1期生涯学習推進計画」と、それに続く「第2期生涯学習推進計画」を策定いたしました。

現在の計画である、「第3期八千代市生涯学習推進計画」は、令和3年3月に策定いたしましたが、第2次基本構想の終了に伴い、次の基本構想の策定を行わず、計画のスリム化を図り、基本構想と推進計画の2層構造であったものを、推進計画に一本化いたしました。この第3期推進計画の期間が令和6年で終了することから、現在、次期計画の内容、生涯学習推進計画の策定に取り組んでいるところでございます。

次に6ページをご覧ください。

「3 策定方針」についてご説明します。

初めに、「(1) 社会情勢の変化や国・県の動向への対応」としまして、近年の変化していく社会情勢に対応する計画とするため、先ほどご説明しました、国や県が策定、公表する計画や指針を踏まえた、計画を策定することが重要となっております。

次に、「(2) 本計画の位置付けと計画の整合」についてご説明します。

本計画の策定にあたり、当市の他の計画との位置付けや整合についてご説明いたします。

まず、「①の八千代市教育振興基本計画における位置づけ」となります。

今回策定する「第4期生涯学習推進計画」は、本市における教育の振興における基本計画である「八千代市教育振興基本計画」の生涯学習部門を担う計画として位置付けられております。

なお、「八千代市教育振興基本計画」は、本計画に加えて、「八千代市学校教育推進計画」と「八千代市スポーツ推進計画」とともに3本柱とされており、教育委員会として、教育行政の推進を図るものです。「②八千代市総合計画との整合」になりますが、本市の最上位計画に当たる、第5次八千代市総合計画との整合を図ることとし、その中で重点的に実施する施策を位置付けた、「八千代市第5次総合計画 後期基本計画」が、本計画と同じく、令和7年度からスタートすることから、基本方針及び施策内容との整合を図り、本計画を策定したいと考えております。

7ページをご覧ください。

計画期間につきましては、先ほどご説明いたしました「八千代市教育振興基本計画」が、第4期計画として、令和7年度から令和12年度までの6年間の計画とすることから、八千代

市生涯学習推進計画もそちらに合わせることにいたします。

次に「(4) 本市の現状に即した効果的な生涯学習の推進」についてご説明します。

「① 生涯学習に関するアンケート調査結果の反映」につきましては、参考資料 1 としてお配りしております「生涯学習に関する市民アンケート調査結果報告書」にありますとおり、昨年 12 月に実施しましたアンケートの調査結果から見える現状や課題や問題点を踏まえ、計画に反映させていくことにいたします。

次に、本市各部署への取り組み調査と指標の設定につきましては、本計画に関連するすべての部署を対象にした計画策定に係る調査を行い、取り組み及び指標を設定し、本市の現状に即した実効性のある計画を目指します。

最後に「4 今後のスケジュールについて」ご説明いたします。

今後、「第 4 期生涯学習推進計画」の素案を策定いたしまして 1 月下旬から 2 月下旬まで、パブリックコメントを実施し、市民からの意見を募集いたします。その後、3 月中旬に本審議会の第 2 回目の会議を開催し、本計画案についての審議を賜ることを予定しております。その後、3 月下旬に予定されている定例教育委員会に計画を諮った後、3 月末日までに計画の策定公表をすることといたします。

以上で、議題 2「第 4 期八千代市生涯学習推進計画の策定方針について」の説明を終了いたします。

【藤澤委員】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありました。計画全体を通しての他、個別の具体的な取り組み項目なども含めて、委員の皆様からご質問、ご意見をお受けしたいと思います。

ご意見のある方は挙手の上、お近くのマイクを使って発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

田村委員お願いします。

【田村委員】

細かい施策の中身は、今後出来てからですね。大きく一つ審議会で意識を合わせておきたいのは、さっきも教育長や会長が仰ってました、環境がいろいろ変わってきている。3 期まできたところとは全然違う。3 期まで非常に頑張っていた意識がありますが、それを踏まえてその延長線上じゃなくて、ここでいろいろ変わってきている。環境、それから AI にしても SNS でも、それから市民の意識も個々大分違いますね。その辺を踏まえて、いろいろ作っていくということが大きくいえるのではないかと思います。

第 3 期の推進計画、これについてはやはり P D C A サイクルできっちりまわしていただいて、そこからいろいろ新たな発想が出てくると思います。

それから 2 つ目は、アンケート調査の結果の反映、せっかくとられたのですから、しかも中身を見ていると、資料がありますが、非常に市民の皆さんがよいことをいろいろ言われている、その意識の変革もかなり出てきている。このアンケートの結果をきちんと踏まえてやっ

ていくということだと思います。そういう意味で、今までやってきたやつから新たにやるもの、もう大胆にいろいろ踏み込んでいろいろやっていけばよいと思います。

あと、アンケートの中で、「生涯学習を知らない」という人が、55.6%もいらしたことは驚きです。「知っているけれども参加したことがない」という人も、20, 30%近くいて、内容の周知がまだ徹底されてないということです、市民の9割方が、あんまり生涯学習をよく知らないと解釈する。だから、そういう意味でここに項目としてはないかもしれないけれど、生涯学習をどう市民の皆さんにどういう場所でどういう格好でどういう効果があるやり方で、周知して知ってもらうかということも、この計画が流れる裏の大きな要素だと思いますので、大変ですが、そこも踏まえていろいろ抜本的に考えていただければよいと思います。

【藤澤会長】

貴重なご意見ありがとうございました。

今の田村委員のご意見に対して、事務局から何かありますか。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

貴重なご意見ありがとうございます。

まず、デジタル化とかニーズがかなり変化していることへの対応、それとともに市民への周知は、我々も大きな課題と考えております。アンケート結果での知らないという割合がかなり多いことは、我々も重く受けとめておりまして、インターネットやSNSを通じた情報発信や、また他の自治体との連携の情報共有など、様々な方策を検討して参りたいと思いますので、今回の計画にも挙げさせていきたいと考えております。

【藤澤委員】

今、田村委員に触れていただきましたが、この計画だけではなくて、この計画の4-1に、生涯学習に関するアンケート調査結果の反映ということありますので、皆様からこちらのアンケートの内容等で、何か感想とか意見があれば、それも含めて広めていただいて、ご意見を遠慮なくお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【金子委員】

今の田村副会長のお話とちょっと関連すると思うのですが、7ページ。

「4 今後のスケジュール」の2つ目のパブリックコメントの実施というところがございます。これは多くの市民からこんなことやってはどうかという意見を出していただく場なのかと思うのですが、これはどのような形で行うのか、教えていただければと思います。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

この後、この計画の素案を策定いたしまして、インターネットまたは市役所、教育委員会、また公民館等でその素案を公表いたします。それについて市民からのご意見をいただき、ご意見対する市の考えを公表するというものです。

【金子委員】

わかりました。その素案を見て、市民のお考えのある方々の意見をちょうだいするという形ですね。まず素案を出すのが最初ということですね。その素案の出し方や場所はどのようにしますか。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

市のホームページで公表いたします。

また同時に紙媒体で、各公共施設等にも配置いたしますので、そこに来た方が見られるようになります。

【金子委員】

それで、市のそのホームページを見ている方っていうのは、かなり熱心な方といえますか、そういうことだと思うのですが、広報やちよですと、ホームページよりももっと見る方もいらっしゃるかなと思っておりますので、そちらも併せて、こういうことをやっていますというお知らせなどがあると、さらに多くの意見が出していただける可能性があるのではないかと感じたりしましたので、お話をさせていただきました。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

市の広報やちよにも、パブリックコメント実施するという記事を掲載する予定でございます。

【藤澤会長】

実施時期から、3月中旬の第2回のときに、それについてはまた事務局から何か説明していただければ。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

次の会議でご審議いただきますが、事前のパブリックコメント実施時に委員さんの方に素案を送付させていただきますので、それに対するご意見をいただきたいと思いますと考えております。

【藤澤会長】

長谷川委員お願いします。

【長谷川委員】

今のパブリックコメントをどういうふうに出すかということと関連するのですが、いろんなことで、皆さんにこういうふうな形で、ここの資料にも載っていますように、具体的な例として何がありますよって書いてありますね。これを体系だって書いてあるものは、そういうものっていうのは公表されているのですか。例えば、八千代市としては、これだけ生涯学

習のところに注目していますよってということがあって、いろいろコメントが出ていますけど、学校についてはこうだとか、スポーツについてはどうだとか、園芸についてはどうだとかいろんなことが書いてあって、それぞれこういうふうな施策がありますよって載っているのか。それともただ施策だけが載っているのか、それによって範囲がよくわからないという気がしました。

それと、広報やちよもそうですが、あれって日本語だけですね。外国の言葉というのは、併記できないものかと前から思っているのです。実際にごみもそうですが、ごみの捨てる方法やいつ何出すかという表があります。市役所に行くと、7 か国ぐらいのチラシはあります。だけどそれを公にしていけないので、外国の方はみんなネットで見ますよ。それで見ればみんなわかるのにそれもやっていない、そういうところを、パブリックコメントにしても、今外国の方が増えているので参加してもらった方がよいと思うのですが、そういう人にも向けて、外国語の全部の言葉までは無理ですが、何とか入れていただくと良いと思います。

【藤澤会長】

確かに、外国籍の方が大変増えていまして、八千代台近辺でも公園で缶ビールを飲みながら、子どもたちが近寄れない雰囲気醸し出して、そういう悪口を言うつもりはないのですが、ただ日本の風習を理解していないので、本人たちにとって悪気はないと思うのです。

でも今の長谷川委員のお話にあったように、そこも少し目を向けて、そういった方にも伝わるように参加できるようにする必要があると思いますので、ご検討ください。

笠川委員お願いします。

【笠川委員】

先ほどの具体例なのですが、ごみの問題。その曜日じゃないのに出ている。これね、住民異動すると、日本人もいろいろな外国の人もアパートが変わると、出す曜日が違ってくるでしょ。だから僕は、前から思っていたのですが、これ不動産屋さんの仕事じゃないかと。それからやはり指導させていかなければ駄目なのではないか。それと同時に、オーナーの責任ではないかと思うのです。だから、市の清掃の方から指導してもらいたいと思うのです。その住民じゃなくて、業者の指導も必要じゃないかと僕は思うのです。

【藤澤会長】

今、ごみの話題になっていますが、要はいろんな方々がいる、特に外国籍の方々に、それを周知する工夫を市の方が、せっかくホームページがリニューアルして、とても私見やすくなったと思うのです。先週の土曜日も、八千代台北は、資源ごみなので私出していたけど、持って行ってもらえなかったのです。あれって思ったら、勤労感謝の日で祝日だからネットで見たら、確かに回収しませんと書いてあって、すぐにインターネットで調べる人もいれば、なぜだろうという人もたくさんいると思うと、今の話にも通じるといいますので、ぜひ部署が違いますが共有していただきたいと思います。

【長谷川委員】

付け加えさせていただいて、今の外国の方の話が出たのですが、基本的に外国の方はやろうとしているけれど、知らないのだと思います。日本人でも、違う日に出してしまう人がたくさんいます。だからそういったのが一部あるだけで、知らないからできないという見方でやっていきたいと思っています。

【藤澤会長】

他はいかがでしょうか。武田委員お願いします。

【武田委員】

「第3期八千代市生涯学習推進計画」の方に、具体的な取り組みで、指標が書かれていて、これ令和6年度末なので、まだ全部講座自体終わってないものもあると思うのですが、結構講座数を増やした目標を立てていらっしゃるの、達成率をお伺いしたいのと、先ほど思ったのが私の話で恐縮なのですが、都内の中央区の築地で講座をさせていただいて、こちらの市民のアンケートの方に生涯学習自体を知らないとか、ネガティブな意見も書かれていたのですが、築地の方の社会教育会館さんは、市民カレッジに参加された方に、1年を半期で区切っていて、このくらいの冊子を作っていて、趣味の講座とか、3、4個講座の種類があって、それを過去に参加された方に郵送でお送りしていて、囲い込みみたいなことをされているそうです。

とは別に、インターネットでも公開していて、私の講座結構人気で、30人定員のところ結構それ以上のお申し込みが来て抽選でという感じにさせていただいて、知っている方は申し込みしてください。徐々にしか増えていかないかもしれないのですが、皆さんお仕事とかされていてお忙しいと思うので、市のそういう活動に関心をよほど持っていらっしゃる方以外は、なかなかホームページをチェックする機会もないのかもしれないのですが、それがうちに届いたりすると、「あ、そうか」という気持ちになってくれると思って、そのあたりをお伺いできればと思います。

【事務局（生涯学習振興課 井澤課長）】

初めに、講座の充実ということで、目標に対してどれぐらい講座数が増えたかというご質問ですが、現況値といたしまして、令和元年度末時点で65講座、まちづくりふれあい講座という市職員が市民グループへの講座に出向きまして、事業や施策についてお話をする制度がございます。

こちらにつきましては、直近では令和5年度末の実績値でございまして、こちら現在68講座ということで、目標が70講座となっておりますので、あと2講座という形になっているところでございます。

【事務局（生涯学習振興課 岡崎公民館担当主幹）】

八千代市の場合、それぞれの部署で講座を企画してまして、横断的な情報はそんなにあ

るわけではないので、バラバラの話になってしまうのですが、公民館の話をしますと、ちょうど今手元に令和6年度の事業計画ということで、大体トータルのボリュームがどの程度かという情報が出ておりますので申し上げます。市内9施設の公民館がございます。各館で講座をそれぞれ主催として実施します。

トータルで講座の件数が174、対象人数はおおよそ6,000人を想定した講座を令和6年度の事業展開を予定してやっていますところです。それぞれ総合生涯学習プラザ、或いは文化伝承館など、行政の各セクションでも、いろいろな講座或いは講習会で企画して実施しておりますので、全体のボリュームで言えばかなり多い方です。具体的なデータを持ち合わせていないので申し訳ございません。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

第3期生涯学習推進計画につきましては、今年度末までが計画期間となっております、年度ごとに年度版という形で、目標に対する実績を報告しております、おそらく次回の3月の審議会に、令和6年度末まで入っていないのですが、途中経過として実績の報告はできるかと思っております。

また、講座を受けた方に何か郵送で送るというものは、実施していませんので、見せていただければ、参考にさせていただきます。よろしくお願いします。

【藤澤会長】

では私から3点。このアンケートの集約は大変だと思うのです。

4ページに、現在、生涯学習活動ということで『特に行っていない』、一番多い各年代30%、そして11ページと、『市の生涯学習の取り組みについて知らない』、が若い世代が86、60代でも54.7ということで、良い講座を設定しても、それが注視されなければいけない。では、どういう方法がいいのかというと、例えば8ページを見ていただくと、生涯学習に関する情報の取得方法は、一番多いのがインターネットSNSです。また、6ページに書いているように、生涯学習行っている場所や形態も、パソコンタブレットなどインターネットです、やはりインターネットSNSっていうのは、大きなツールになると思います。そこら辺のところを、先ほどのホームページのこともありますけれども、そういったものを活用するというので、やっていただけると嬉しいかなということです。

それと、先ほど冒頭の私の挨拶で触れましたけれども、17ページの意見の中の9番目に、大学で講座や講義を受けられるような機会が増えるようにしていただけると嬉しいですと書いています。幸い私が秀明大学ということでここに来ていますので、先ほど学園祭の話をしたのですが、本校の学園祭は、お酒禁止にしたので飲めません。ですから食べ物はあるのですが、真面目なブースが多くて、昔の地図に沿って地形図を作り、メダカすくいとか楽しいことも含めてということで、そういった催し物がありますので、もし学園祭で学生が取り組んだもので、生涯学習につながれるものがあれば、或いは、先ほどのように、若い人が知らないのであれば、小学校中学校時代からこういった生涯学習のイベントに参加しておいて、意識づけをしておくというのも、これは、長いスタンスで見たときの、10年後20年後の

取り組みとして考えていくのもあるので、よろしければ大学との連携ということも含めて、施設の方はたくさんいますので、学生にしても教授にしても、いろいろな持てる講座がありますから、せっかくこういう機会をもらえたので紹介しました。

最後です。若い人たちの関心が低いですね。皆さんには失礼ですが委員の年齢構成見てください。例えば30代から40代で、委員は20名までと書いています。20名まで増やす必要はないのですが、1人か2人、30代40代を何らかの形で、団体の代表か、市民や市民はあくまでも自分からかもしれないけれども、30代40代、できれば男女参画時代ですので、武田委員だけではなくて女性がもう少し増えていく、これはもう来年度の課題となってきますけれども、やはりこの生涯学習審議会委員から、いろいろな貴重な意見が今日もたくさん出ていますけれども、それらへの工夫を考えていただけると嬉しいかなと私は個人的には思っています。

【田村委員】

1ついいですか。

このアンケートの中には、こう見ていると結構いろいろ参考になる意見がすごく含まれていると思うのです。例えば今まで生涯学習というのはそれぞれ図書館だとか、それから中央図書館だとか、博物館だとか、いろいろ施設でやるというのがメインになっているのですが、アンケートなんか見てみると、駅に持ってきてくれと。それからどっか買い物をするとこに持ってきてくれと。インターネットというのものもあるかもしれませんが、貴重な意見というのは結構あると思います。

それから、今会長がおっしゃいましたように、例えば10月に秀明大学、無料の公開講座をしますというのが、八千代市のインターネットで流れています。ああいうものを、秀明大学がいっぱい協力してくれると思うのです。無料でも、そういうものも入れて。全部やると大変だと思うのです。今までやったものにさらに上乘せしてやれなんて言われるとね。

例えば11月に、八千代まちゼミというのものこれもインターネット流れていましたけれども、商工会議所が28業者を選んで、生涯学習みたいなことをやっています。だからそういうのもいろいろ組み込みながら、市民のニーズに応えるというのは、このアンケートと、それから今の情勢のヒントではないかと思うので、今ここでどうこうしろと言うのではなくて、そういうのも踏まえて検討していただければと思います。

【藤澤会長】

ありがとうございました。

他にご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

【種村委員】

私、今の八千代中の前が阿蘇米本学園というところに勤務しておりまして、小中一貫校ですが、それが阿蘇小、米本小、米本南小の3つの小学校を、阿蘇中の校舎の中に入れて、小中の子どもたちが一緒に過ごしている。ということは、閉校した小学校3つは何も使っていない

と思われるのです。テレビでも、廃校した教室で何かいろんな講座がやっています。ただ、場所的に米本なので、不便な部分があるかと思うのですが、学校ですので広いスペースや教室、体育館もあります。調理室や理科室もある、そういったものがそろっているところなので、まずそういったものをうまく活用するというのも1つ。今、世の中で、いろんな市町村で学校の統廃合で使われなくなった学校の利活用が進んでいますので、八千代市もそんなふうにできたらと思います。きっと将来子どもたちがどんどん減ってきますので、米本地域以外でも、いつかはそういった小学校等が無くなることも考えられますので、ぜひそういった視点も持っていただけるとよいかなと思います。

【藤澤会長】

ありがとうございます。

学校ですから家庭科室がありますので、阿蘇米本の農家の方に、地産の作物を用意していただいて、家庭科室でクッキング教室というのも、親と一緒に参加してというようなことが出てくる。それも本当にいろいろなメンバーがいて意見が出てくると事務局も取り組みやすいと思いますので、よろしいでしょうか。

それでは、皆様からご意見、ご質問が終了ということであれば、議題2「第4期八千代市生涯学習推進計画の策定方針について」の議題を終了したいと思います。

よろしいでしょうか。

では事務局、委員の皆様から出された意見等を踏まえて、必要に応じて修正を行うようにお願いいたします。

以上で本日の議題はすべて終了となります。

続いて、次第5「その他」に移ります。事務局から連絡事項等ございますか。

【事務局(生涯学習振興課 江尻主査)】

事務連絡といたしまして、委員の報酬振込が新規の方、または変更がある方で書類をまだ提出をされていない方は、終わりましたらご提出をお願いいたします。

日程につきましては、先ほどご説明しましたとおり、年明け来年の3月に第2回の審議会を予定しております。日程の調整等後日お願いいたしますので、ご協力の程よろしくお願いします。連絡事項は以上です。

【藤澤会長】

それでは以上をもちまして、令和6年度第1回八千代市生涯学習審議会を終了いたします。議事に協力いただき、ありがとうございました。